

佐賀県における国内産農産物銘柄設定等意見聴取会議事録

九州農政局生産部生産振興課

1 開催日時 令和6年12月12日 13時35分～15時00分

2 開催場所 九州農政局佐賀県拠点会議室

3 出席者

【学識経験者】

佐賀県農業試験研究センター作物部 係長 森 則子
(以下、「佐賀県農研センター 森」)

【行政機関】

佐賀県農林水産部園芸農産課 主査 友澤 佑斗
(以下、「佐賀県 友澤」)

【生産者団体】

佐賀県農業協同組合中央会農政広報課 審査役 濱野 克錦
(以下、「佐賀県農協中央会 濱野」)

佐賀県食糧集荷加工協同組合 参事 橋本 久男
(以下、「佐賀県食糧集荷組合 橋本」)

佐賀県主食集荷商業協同組合 代表理事 百武 政文
(以下、「佐賀県主食集荷組合 百武」)

【実需者】

株式会社 JA 食糧さが 副部長 草場 裕文
(以下、「JA 食糧さが 草場」)

株式会社 JA 食糧さが 係長 山下 竜治
(以下、「JA 食糧さが 山下」)

【登録検査機関】

有限会社七島農産 代表取締役 七島 和美
(以下、「七島農産 七島」)

安部商事株式会社 エリアマネージャー 田中 豪
(以下、「安部商事 田中」)

一般財団法人日本穀物検定協会九州支部佐賀出張所 所長 小野 和彦
(以下、「日本穀物検定協会 小野」)

佐賀市中央農業協同組合指導経済部 課長 森 孝介
(以下、「佐賀市中央農協 森」)

唐津農業協同組合営農経済部 係長 佐伯 秀徳
(以下、「唐津農協 佐伯」)

【申請者】

佐賀県農業協同組合農産部農産指導課 課長 (以下、「佐賀県農協 岩橋」)	岩橋 信明
佐賀県農業協同組合農産部農産指導課 技術参与 (以下、「佐賀県農協 橋本」)	橋本 幸春
佐賀県農業協同組合農産部農産指導課 係員 (以下、「佐賀県農協 早川」)	早川 正紀
佐賀県農業協同組合農産部米穀販売課 係員 (以下、「佐賀県農協 木村」)	木村 航
熊本製粉株式会社業務管理部 社員 (以下、「熊本製粉 甲斐」)	甲斐 幸太

【九州農政局】

九州農政局佐賀県拠点地方参事官室 総括農政業務管理官	江口 直宏
九州農政局佐賀県拠点地方参事官室 行政専門員	島 徳幸
九州農政局佐賀県拠点地方参事官室 行政専門員	橋本 秋敏
九州農政局生産部生産振興課 検査技術指導官 (以下、「九州農政局 金藤」)	金藤 一寿
九州農政局生産部生産振興課 行政専門官 (以下、「九州農政局 中村」)	中村 勇二

4 議題

佐賀県における令和7年産国内産農産物の銘柄設定等の申請について

- ア 水稻うるちもみ及び玄米「ひなたまる」の銘柄の設定について
(申請者：佐賀県農業協同組合、登録検査機関：佐賀県農業協同組合)
- イ 普通小麦「モチハルカ」の銘柄の設定について
(申請者：熊本製粉株式会社、登録検査機関：有限会社七島農産)
- ウ 普通大粒大麦「ニシノホシ」の銘柄の廃止について
(申請者：九州農政局長)

5 議事

(1) 申請内容等の説明

- ア 水稻うるちもみ及び玄米「ひなたまる」の銘柄の設定について
(申請書等に基づき、「佐賀県農協 早川」が説明)
- イ 普通小麦「モチハルカ」の銘柄の設定について
(申請書等に基づき、「熊本製粉 甲斐」及び「七島農産 七島」が説明)
- ウ 普通大粒大麦「ニシノホシ」の銘柄の廃止について
(申請書等に基づき、「九州農政局 中村」が説明)

(2) 設定申請品種のサンプル確認

申請品種のサンプルを比較対象品種のサンプルと比較し確認

(3) 申請内容等に対する質疑及び意見聴取

【九州農政局 金藤】

皆さんお揃いのようなので再開させていただきます。

それぞれ申請内容についてご説明いただきましたが、説明に補足して申請者以外のところで説明をしておきたいという部分がありましたら、お受けしますが、何かございませんか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは、ご説明いただきました申請内容等につきまして、順をおって銘柄ごとにご質問等をお受けし、それらを踏まえまして、関係機関ごとのご意見をお伺いします。

まずは、水稻うるちもみ及び玄米「ひなたまる」の銘柄設定につきまして、ご質問をお受けしたいと思います。

なお、事前に募集いたしました意見書につきましては、提出はありませんでしたので、ご報告させていただきます。

ご質問等はありませんでしょうか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは質問が無いようですので、こちらから設定銘柄につきまして確認させていただきたいと思います。

4点ほど申請者である佐賀県農業協同組合様、或いは、育成者の佐賀県様にお伺いしたいと思います。

1点目は、今回、申請の「ひなたまる」については、「ヒノヒカリ」と比べ2割以上多収でいもち病・トビイロウンカ耐性も強く、高温登熟耐性にも優れているということですが、実際に作付けされた生産者の反応はどうでしょうか。

2点目は、今後は、「ヒノヒカリ」から「ひなたまる」へ品種転換し、生産面積の拡大を図るということでしょうか。また、今後の作付けについては、地域を限定して作付推進を図る予定なのか、県内全域に普及させることも想定されているのか、教えていただけないでしょうか。

3点目は、「ひなたまる」は「ヒノヒカリ」と同等の食味ということですが、実需者等からの評価は確認されているでしょうか。

佐賀県農業協同組合様にお伺いしますが、令和5年産から県内の一般ほ場にて栽培を行ってきたということで、随時農産物検査を行っているということですが、品質等は具体的にどうだったのでしょうか。特に当品種は、高温耐性品種ということで、本年産については佐賀県に限らず、九州各県において高温障害の影響を受けていますが、そのあたりはどうだったのでしょうか。

【佐賀県農協 岩橋】

1点目の質問についてですが、生産者の声から先に言わせていただきますと、「ヒノヒカリ」より品質、収量ともに良かったという実感は持たれているという状況でございます。ここ数年「ヒノヒカリ」の品質、収量ともに悪いような中では、「ひなたまる」を作付けしたいという声は上がっている状況でございます。

2点目の質問についてですが、作付の展開はポスト「ヒノヒカリ」、「田んぼの夢」の位置づけといったところで設定させていただいておりますので、県域全体で広げるような計画で思っているところでございます。

【佐賀県農協 木村】

「ひなたまる」の食味の評価ですが、5年産で主要の売り先様の方に玄米、精米のサンプルを提出して炊飯試験を実施していただきました。また、取引先様の職員様の方に食べていただいて、外観、香り、味、粘り、硬さの5段階評価をしていただいて、総合評価につきましては、「3」となったところです。

【佐賀県農協 早川】

令和6年産の検査の状況につきましては、他品種と同様に生育具合が悪く、収量も令和5年産より劣る結果となりましたが、高温耐性にも強いことから乳白粒等の混入割合は他品種と比べて少なかった模様です。また、対象品種の「ヒノヒカリ」と比べると検査時の被害粒の混入割合も少なく、適切な水田管理がなされれば適正品種になると思われれます。

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

令和6年産米については、九州の全ての県において高温障害を受けており、今後、気候が涼しくなっていくことは考えにくいので、高温耐性品種への転換が重要になってくると思います。当品種につきましては、高温登熟耐性ということで期待のできる品種だと感じているところです。

他にご質問等はありませんでしょうか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは、銘柄及び品位の鑑定について、検査機関の皆様にお尋ねします。先程、申請品種のサンプルを確認していただきましたが、農産物検査において、銘柄鑑定が可能かについて、問題なしということによろしいでしょうか。また、農産物規格規程に定める品位規格の適用が可能かについて、問題なしということによろしいでしょうか。

（検査機関一同、「問題なし」）

【九州農政局 金藤】

申請者に確認します。種苗法関係ですが、育成権者の佐賀県と通常利用権の設定を今後締結予定ということで、佐賀県から種子を購入することから育成者権の侵害は及ぼさない、問題なしということによろしいでしょうか。

（申請者、「はい」）

【九州農政局 金藤】

はい、有難うございます。他にご質問等ありませんでしょうか。

【九州農政局 中村】

今後この品種は、県の奨励品種というお話は何か出ていますでしょうか。

【佐賀県 友澤】

現在、奨励品種の選定に向けて検討しているところです。

【九州農政局 金藤】

はい、有難うございます。他にご質問等ありませんでしょうか。

（一同、「なし」）

【九州農政局 金藤】

それでは、今までの経過なりご質問を踏まえまして、「ひなたまる」の銘柄設定につきまして、設定の可否を含め関係機関ごとのご意見をお伺いします。ご意見については、申請者であります佐賀県農業協同組合様を除く関係機関にお伺いします。

【佐賀県食糧集荷組合 橋本】

特に問題はありません。九州で「ヒノヒカリ」は全県で作付けされておまして、需要者からは「ヒノヒカリ」が欲しいという声が多いので、「ヒノヒカリ」から全て、「ひなたまる」に置き換わるのではなく、「ヒノヒカリ」についても作付けして欲しい

と感じています。

【佐賀県主食集荷組合 百武】

自分も「ひなたまる」を作る予定ですが、食味は「ヒノヒカリ」と比べて同等だといいますが、落ちるようだったらどうなのかとそこだけが気になるところです。今後作付けして考えていきたいと思います。銘柄設定については意義ありません。

【佐賀市中央農協 森】

県の方から試験栽培ということで、生産者に作ってもらいましたが、高温耐性については明らかに良かったです。また、収量についても良かったので、生産者は是非に作りたいということですので設定されて、来年度から作付けされることを期待しています。

【唐津農協 佐伯】

特に問題はありません。唐津でも2年ほど試験栽培をしています。急に転換できることはないかと思っています。現状の品種の面積を守っていきながら、「ヒノヒカリ」からの転換を検討していきたいと思っています。

【安部商事 田中】

実際に「ひなたまる」を食べられた方から話を聞く限り、どうしても「ヒノヒカリ」の方が美味しかったという方が多くて、今後も「ヒノヒカリ」を作りたいという農家さんも多い中でも切り変わっていくのかなと思っています。

【日本穀物検定協会 小野】

「ヒノヒカリ」については、食味的にはいいかなと思っていますが、ここ数年高温障害による品質が著しく悪いから、1等にならないという状況になっております。そのような状況ですので、大いに新しい品種「ひなたまる」に期待をしているところでございます。

【熊本製粉 甲斐】

特に異議はございません。

【七島農産 七島】

本日、初めて「ひなたまる」を見せていただきましたが、粒張りも良くていい品種だと思います。食べたことがないので「ヒノヒカリ」との比較はできませんが、生産者側からすると収量が良くて栽培がしやすく、病虫害や高温に強い品種が農家さんに求められているので、あとは作付けがどれだけ広がってくるか期待するところです。

【JA 食糧さが 山下】

「ひなたまる」については、「ヒノヒカリ」の後継品種ということで、弊社では業務用先に向けて「ヒノヒカリ」を使用しています。高温障害等で「ヒノヒカリ」の品質が安定していないので、「ひなたまる」については我々としても期待をしているところでございます。

【JA 食糧さが 草場】

当社では、「ヒノヒカリ」を主に外食産業向けに使っていることが多かったのですが、ここ数年、炊き上がりについては、乳白粒等が多かったことで柔らかく炊けているという話もあっています。量の方も年々減少しているというところで、そこに変わる品種として何か出てこないかと当社でも期待していたところに今回のお話を聞いて、価格帯としても「さがびより」、「夢しずく」、その下に「ヒノヒカリ」が従来ありますが、そこに置き換わってくれる存在になってくれると、当社としても非常にありがたいと感じております。今後「ひなたまる」が広がって、収量も安定していけば非常にありがたいと思っていますのでよろしくお願いします。

【佐賀県農研センター 森】

育成者側からしたら、「ヒノヒカリ」は量が不安定、品質についても不安定だったので、安定したものをという思いから病害虫、高温耐性に強いもの選んできた次第です。「ひなたまる」については、ここ何年か安定して収量が良くて、今後生産者に推進を図っていききたいと思っています。

【佐賀県 友澤】

「ヒノヒカリ」、「たんぼ夢」の収量、品質が年々下がってきている中で、全国的にも高温障害が問題になっておりまして、現地の声、実需者の皆さんからの収量の安定、品質の安定が求められている中で、県の方で育成をしてきた品種になります。「ヒノヒカリ」が求められているということは、重々承知していますが、生産者の皆様の所得を考えても、収量、品質が安定したものがいいといったところで、この度推進をしていくことで決定したところであります。来年から作付けが始まるわけですが、今の試験ではよい成績がでていますので、県としても来年から期待をしているところでございます。また、次年度からも皆様に色々とお力をお借りすると思っておりますのでよろしくお願いします。

【佐賀県農協中央会 濱野】

佐賀のお米ということで、「さがびより」に続くものとしてしっかり成長していただければと思っています。また、高温耐性、病害虫にも強いということで、生産者の皆様方には喜ばれるのかなと思っています。我々としても応援していきたいと思っています。

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

只今、「ひなたまる」の銘柄設定についてご意見を賜りました。主に「ヒノヒカリ」との比較について、食味の関係や作付け転換の時期等のご意見をいただきましたが、「ひなたまる」の銘柄設定については、「異議なし」といった意見であったということ整理をし、ここは締めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(一同、「はい」)

【九州農政局 金藤】

ありがとうございました。

続きまして、普通小麦「モチハルカ」の銘柄設定につきまして、ご質問をお受けします。

なお、事前に募集いたしました意見書につきましては、提出はありませんでしたので、ご報告させていただきます。

ご質問等はありませんでしょうか。

【佐賀県農協 橋本】

「モチハルカ」は「ミナミノカオリ」と比較をされていますが、収量性と品質はどういうものなのかということと、気になるのが現在は、県内5品種の普通小麦が栽培されていますが、「モチハルカ」と比べています「ミナミノカオリ」より1日ぐらい遅い収穫期ということで、穂発芽性はどうなのか。昨今、赤かびが全国的に問題になっています。耐赤かび性はどうなのか。それから、「モチハルカ」の歩留まり等についてはどうなのか。最後に今後の作付見込み等が分かればお知らせいただけたらと思います。

【熊本製粉 甲斐】

収量性につきまして、生産者の反応としましては、既存の強力系小麦品種との栽培と大きな差はなく、同程度の施肥量でタンパクも同じように上がるということで、栽培に関する懸念等はいただいていないという状況となっています。

作付見込みに関しまして、令和7年産につきましては、熊本と福岡、佐賀の3県を合わせて、千トンの収穫目標としておりましたが、実情としては5百トン程度にとどまっている状況になります。そのため今回の銘柄設定することにより、生産者の方に安心して生産拡大をしていただければと思っています。

穂発芽性と赤かびにつきましては、確認が出来ていけませんので、持ち帰って再度回答させていただきたいと思っていますがよろしいでしょうか。

【佐賀県農協 橋本】

登録検査機関として、七島農産さんが令和5年産、6年産について農産物検査を実施していると思いますが、今年は非常に雨が多くて赤かび等の発生も多いと危惧をしたところですが、今年の品質について他の小麦と比較して同等だったのか。本日の展示品を見ると「ミナミノカオリ」と比較して非常に粒が小さく、溝が深いのが気になったところです。そのあたりの農産物検査の状況はどうだったのかお聞きしたいと思います。

【七島農産 七島】

令和5年産で1件の作付けがあって63トン、今年は4件の生産者さんの作付けがあって120トンの検査をしました。まず、穂発芽については確認できていません。また、赤かびは事前のサンプルで確認したところ確認できていません。品質的には「ミナミノカオリ」と比べると色が薄い感じがありますが、小粒ですが丸みが整っていて、いい小麦粉になるのではないかとということです。生産者からは極端に他の小麦と違っては作りにくいなどという声は上がっていませんでした。実需者さんが望む品種の作付けをしたいと生産者さんから聞いているところです。

【佐賀県農研センター 森】

「モチハルカ」の用途ですが、申請書に添加剂的用途と記載されていますが、具体的にこれを使うことによって、こういった商品が出来るのか、こういったメリットがあるのか教えていただきたいと思います。

【熊本製粉 甲斐】

小麦粉に10パーセント配合することによって、添加剤として使用しますが、パンに使用するとモチモチ、ふわふわとした食感など、実際に食べていただいた方から評価をいただいております。強力系の品種になりますので、食パンやハード系のパン、つけ麺や餃子の皮の使用に推奨しております。

【佐賀県農研センター 森】

単体では使わずに、ブレンドで使うということですね。

【熊本製粉 甲斐】

はい、そういうことになります。

【九州農政局 金藤】

質問者の方々はよろしいでしょうか。

(一同、「はい」)

【九州農政局 金藤】

こちらから設定銘柄につきまして確認させていただきたいと思います。

今回、申請の「モチハルカ」については、既存の小麦粉にはない、もち性小麦ということで、農研機構と共同研究され新品種として育成されたと聞いているところですが、その育成に至った経緯について、お聞かせいただけたらと思います。

【熊本製粉 甲斐】

経緯に関しましては、他社にはない小麦粉製品を検討する中で、九州産として育成できることや今までにない特性に着目して検討しました。検証、検討、確認試験をする中で、「モチハルカ」のもち性や強力性の特性等が今までの九州産の小麦にはない新しい特性であったことや九州産で栽培に適しているということから育成に至りました。

【九州農政局 金藤】

実需者からの「モチハルカ」の評価はどうでしょうか。

【熊本製粉 甲斐】

「ミナミノカオリ」と比較して、タンパクは同程度で生産者によっては、それより高くでているという声をいただいています。タンパク値が高いと製パン性が良い評価となっております。

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。他にご質問等はありませんでしょうか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは、銘柄及び品位の鑑定について、検査機関の皆様にお尋ねします。先程、申請品種のサンプルを確認していただきましたが、農産物検査において、銘柄鑑定が可能かについて、問題なしということによろしいでしょうか。また、農産物規格規程に定める品位規格の適用が可能かについて、問題なしということによろしいでしょうか。

(検査機関一同、「問題なし」)

【九州農政局 金藤】

申請者に確認します。種苗法関係ですが、育成権者の国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と育成に係る利用権許諾契約を締結していることから、育成

者権の侵害は及ぼさない、問題なしということによろしいでしょうか。

(申請者、「はい」)

【九州農政局 金藤】

種子の供給、生産はどうされるのでしょうか。

【熊本製粉 甲斐】

一度確認して、回答させていただきます。

【九州農政局 金藤】

はい。他にご質問等ありませんでしょうか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは、今までの経過なりご質問を踏まえまして、「モチハルカ」の銘柄設定につきまして、設定の可否を含め関係機関ごとのご意見をお伺いします。ご意見については、申請者の熊本製粉株式会社様を除く関係機関にお伺いします。

【佐賀県食糧集荷組合 橋本】

「モチハルカ」は申請書に記載しているように小麦粉の添加剂的用途として使用するという事で単体では使用することはないと先ほど確認しましたが、どのくらいの量を作付けしてほしいのか、今後佐賀県においてはどれくらいの生産面積を望まれているのか分かれば教えていただきたいです。

【熊本製粉 甲斐】

福岡、熊本、佐賀において併せて千トンの目標を掲げておりますが、現状では5百トン程度にとどまっている状況になりますので、足りない部分を補っていきたいと考えています。その中で内訳になりますが、今後各県の状況を踏まえながら、検討させていただけたらと思っています。

【佐賀県食糧集荷組合 橋本】

はい。設定については特に問題はありません。

【佐賀県主食集荷組合 百武】

雨の影響による穂発芽を心配しています。設定については特に問題はありません。

【佐賀市中央農協 森】

設定については特に問題はありません。

【唐津農協 佐伯】

設定については特に問題はありません。赤かびの関係や種子については後日の回答となっていますのでよろしくお願いします。

【安部商事 田中】

設定については特に問題はありません。

【日本穀物検定協会 小野】

「モチハルカ」の栽培指針等の指導をしていただきたいと思います。設定については特に問題はありません。

【七島農産 七島】

設定については特に問題はありません。

【JA 食糧さが 山下】

設定については特に問題はありません。

【JA 食糧さが 草場】

設定については特に問題はありません。

【佐賀県農研センター 森】

設定については特に問題はありません。

【佐賀県 友澤】

設定については特に問題はありません。

【佐賀県農協中央会 濱野】

設定については特に問題はありません。

【佐賀県農協 橋本】

設定については特に問題はありません。本日展示している「モチハルカ」を見ると母親のチクゴイズミ系統を小さくした粒なのかなと思います。これを見た限りでは収量性はあるのかなと思いますので、新しい銘柄の申請については特段問題ありませんが、穀物検定協会からの意見でもありましたように栽培指針等を指導してもらいながら対応いただけたらと思います。

【佐賀県農協 早川】

設定については特に問題はありません。

【佐賀県農協 木村】

設定については特に問題はありません。

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

「モチハルカ」については、生産者に対して栽培指導等の対応をしていただきたいとの意見があったところでございます。

「モチハルカ」の銘柄設定につきましては、「異議なし」といった意見であったということで整理をし、ここは締めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(一同、「はい」)

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

最後に、普通大粒大麦の「ニシノホシ」の銘柄廃止につきまして、ご質問をお受けします。なお、事前に募集いたしました意見書につきましては、提出はありませんでしたので、ご報告させていただきます。

ご質問等はないでしょうか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは質問が無いようですので、こちらから廃止銘柄につきまして確認させていただきたいと思います。

皆様にお伺いしたいと思いますが、「ニシノホシ」については、令和4年産以降、作付け、検査実績がありませんが、作付けがなくなった主な要因等お分かりであれば教えていただけないでしょうか。

また、今後、「ニシノホシ」については、作付けされる見込みはないということでよろしいでしょうか。

【佐賀県農協 橋本】

他の銘柄への作付転換がされております。佐賀はビール契約がある「サチホゴールデン」、普通大粒大麦として「はるか二条」の方に変わっていきました。「ニシノホシ」は過去3年間作付けがなくなっています。

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。他にご質問等ありませんでしょうか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

それでは、今までの経過なりご質問を踏まえまして、「ニシノホシ」の銘柄廃止につきまして、ご意見をお伺いします。

なお、本来ですと、関係機関ごとにご意見をお伺いするところですが、今後、作付けされる見込みもなく、特に質問もありませんでしたので、一括してお伺いしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

(一同、「はい」)

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

それでは、「ニシノホシ」の銘柄廃止につきまして、反対の意見がある方はおられますか。

(一同、「なし」)

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

反対の意見はないようですので、「廃止について異議なし」ということで整理をし、ここは締めさせていただきたいと思います。

(一同、「はい」)

【九州農政局 金藤】

ありがとうございます。

「モチハルカ」につきましては、佐賀県内5品種の普通小麦が栽培されていますが、その品種と比較して発芽性、穂発芽性はどうなのか。また、赤かびの関係や歩留まりはどうなのか。それから種子の生産、供給はどうするのかは後日、熊本製粉様から回答をいただくこととなっています。回答された後に、皆様方へお知らせしますのでよろしく願います。

はじめに申しましたとおり、本日の意見聴取の結果は農林水産本省へ報告し、これを踏まえて本省穀物課において銘柄の設定等を行う必要があると認められた場合は来年の3月末までに改正が行われることになります。

本日は、皆様から大変貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。

それでは、これで私の進行を終わらせていただきます。

【九州農政局 中村】

皆様方にはご協力いただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、議事を終わらせていただきます。

なお、次第の4「その他」については、特に用意はしておりません。また、意見書の提出に併せまして「農産物検査規格の設定・改正に係る意見等」を募集しましたが、特にありませんでした。

農産物検査関係について、何かご意見・ご要望等はありませんでしょうか。

(一同、「なし」)

それでは、これを持ちまして令和7年産の国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取会を閉会いたします。

皆様、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。